弘前大学大学院医学研究科（脳神経内科学講座）教員公募要項

１．募集職種・人員　　**教授　　１名**

２．任　　期　　１０年
※　弘前大学は教員の任期制を導入しており、大学院医学研究科の教授の任期は１０年（再任可）となります。

３．所　　属　　大学院医学研究科　脳神経内科学講座

４．専 門 分 野　　脳神経内科学

５．担 当 科 目　　医学部医学科　　：神経内科学、特別教育科目（研究室研修）、ＰＢＬ、臨床実習Ⅰ・Ⅱ
大学院医学研究科：脳神経病態内科学講義、脳神経病態内科学演習、脳神経病態内科学実験実習、医学研究基礎技術実習（脳神経系の解析法）
教養教育　　：専門領域に関わる科目等

６．採用予定時期　　令和　９年　１０月　１日　以降

７．待　　遇　　(1) 給与については、国立大学法人弘前大学職員給与規程が適用になります。
(2) 労働条件については、弘前大学の定める規程等によります。

８．応 募 資 格　　次の要件すべてを満たす者
(1) 医師で、脳神経内科学を中心とした教育、研究及び診療に熱意を有し、かつ、当該領域において先進的医療を実践できる者。
(2) 博士の学位を有し、大学院医学研究科（博士課程）において主指導教員として教育研究指導ができる者。
(3) 国際交流を推進できる者。
(4) 一般社団法人日本医学教育評価機構による医学教育分野別評価が教員に求める能力を有する者。
(5) 日本内科学会総合内科専門医の資格を有する者。
なお、上記に加え、日本神経学会の専門医・指導医であることが望ましい。

９．応 募 書 類　　次に挙げるすべての書類
(1) 履歴書　【様式１】
写真（カラー、４㎝×４㎝、３ヶ月以内に撮影したもの）を貼付してください。
(2) 研究実績目録　【様式２の１の１～２の７】
以下の区分・順序により記載してください。なお、研究業績目録のうち学位論文には◎印を、主要業績（別刷提出論文）には○印を、応募者氏名にはアンダーラインを付してください。また、欧文原著、欧文症例報告、欧文総説については、掲載年にかかわらず、クラリベイト・アナリティクス社「Journal Citation Reports」による直近のインパクトファクター（IF）値を記入してください。
①原　著
②症例報告
③総　説
④その他

⑤著　書
⑥学会発表（特別講演、宿題報告、シンポジウム、パネルディスカッションなど主要なもの、及び国際学会）

(3) 研究教育等実績一覧　【様式３の１～３の５】
①教育実績
②社会及び学会における活動実績
③研究補助金等の実績
④診療経歴
⑤最近５年間に関与した症例５０例

(4) 応募者周辺の方へのアンケート調査に係る同意書　【様式４】

(5) 教育、研究、診療等に対する抱負　【様式５の１～５の４】
①教育に対する抱負
②研究に対する抱負
③診療に対する抱負
④講座運営・地域医療に対する抱負

(6) 主要業績の別刷（１０編以内）
別刷はPDF形式の電子データにより提出すること。郵送の場合は、USBメモリ等の記録媒体に保存の上、提出してください。事後に返却いたします。

(7) 関係者の推薦書　【任意様式】
厳封の上、別便で推薦者から直接送付してください。

※　応募書類（様式等）については、大学院医学研究科ホームページ「教員公募情報」（http://www.med.hirosaki-u.ac.jp/web/teacher.html）からダウンロードできます。

10. 応　募　期　限　(1)　郵送の場合　令和９年　１月　５日（火）(17時)【日本標準時】
(2)　WEB 応募の場合　令和９年　１月　５日（火）(24時)【日本標準時】

11. 選　考　方　法　(1) 書類審査
(2) 選考の過程において、応募者周辺の方に対して、応募者の教育、研究、診療、管理運営の参加の状況等についてのアンケート調査を実施します。また、選考委員との面接、模擬講義、教育・研究に関する抱負等の発表のため弘前大学にお越しいただく場合があります。

12. 書 類 提 出 先　(1)　郵送の場合
〒036-8562　青森県弘前市在府町５
弘前大学大学院医学研究科　教授候補者選考委員会　宛
※封筒に「教員応募書類（脳神経内科学講座）在中」と朱書きし、簡易書留、レターパック、EMS、その他法令で認められる送付方法により、送付記録の残る方法で送付してください。
(2)　WEB 応募の場合
JREC-IN Portal サイト（https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekTop）

13. 問い合わせ先　〒036-8562　青森県弘前市在府町５
弘前大学医学研究科総務課総務グループ（総務担当）　宮崎・武田
TEL：0172-39-5539　E-mail：jm5194@hirosaki-u.ac.jp

14. そ　の　他　(1) 弘前大学は男女共同参画を推進しています。業績及び資格等に関わる評価が同等と認められる場合には女性を優先的に採用します。また女性応募者の面接時の交通費支援を行っています。該当する場合は、採用部局の担当者に面接時交通費支援を

希望する旨ご相談ください。さらにワークライフバランス確保のため、子育て・介護中の研究者に対する研究支援員配置や託児利用料補助などを行っています。これらの含む支援策については、男女共同参画推進室ホームページをご覧ください。
（ホームページのURL　https://www.equ.hirosaki-u.ac.jp/　）

(2) 弘前大学では、女性の方、外国人の方の積極的な応募を歓迎いたします。

(3) 必要に応じて他の学部・研究科等の教育や業務、あるいは教養教育等を担当していただく場合があります。

(4) 応募書類により取得する個人情報は、本公募による教授候補者の選考及び採用時の人事、給与、福祉関係等必要な手続きにのみ利用するものであり、この目的以外で利用又は提供することはありません。

(5) 弘前大学の求職者等に対するハラスメント防止の取組みについては、以下をご覧ください。
(https://www.hirosaki-u.ac.jp/info/rules/harassment/)

令和 8 年 7 月 6 日

脳神経内科学講座教育・研究組織に関する提言

１．講座のあり方と方向性

脳神経内科学講座は、神経学を基盤とする教育・診療・研究を推進し、神経変性疾患や認知症、脳血管障害をはじめとする脳神経疾患に対する高度な医療を担うとともに、地域医療を支える専門医の育成と当該分野の発展に寄与することを目的とする。そのため、先進的な研究の推進と人材の確保・育成が求められる。

２．診療

青森県を中心とする地域全体の内科診療体制を構築し、本学附属病院における脳神経疾患診療の中核となり、関連診療科および地域医療機関との連携の下に高度かつ先進的な医療を実践するとともに、その発展に貢献することが求められる。

３．教育

卒前・卒後教育の全ての段階において神経学教育の充実を図り、幅広い知識と高い臨床能力を有する医師の育成に積極的に携わることが求められる。

４．研究

神経変性疾患、認知症、脳血管障害をはじめとする脳神経疾患に関する学理及びその応用の研究を推進することが求められる。

５．社会活動

専門医の育成を含め、地域医療機関との連携を強化し、青森県を中心とする地域全体における脳神経内科医療提供体制の維持・発展に積極的に貢献することが求められる。

６．その他

脳神経内科学講座の構成員として第一に求められるものは、卓越した臨床能力と、それを追求する真摯な姿勢である。特に教授には、附属病院脳神経内科のリーダーとして、講座・診療科の機能充実を果たすとともに、教育・研究・診療活動を統率できる人物が求められる。また、学外の医療機関との連携を通じて、青森県を中心とする地域全体の地域医療の発展に貢献できる人材であることが望まれる。

脳神経内科学講座教育・研究組織提言委員会
石橋恭之（委員長）、横山良仁（副委員長）、水上浩哉、
三上達也、櫻庭裕丈、藤田征弘、掛田伸吾、斉藤敦志